

『親のガマン・子のガマン』

B グループ 橋本、有賀、串岡、吉田
村田、山口、中沢、高林

6/24の教育長と語る会の中で「子供にガマンさせるには、どうしたらいいですか？」との質問がありました。そのお答えの中で「実は、親の方がガマンできていない場合もあるのでは・・・。」というお話があり、皆思い当たる節があるなぁと感じていました。その後のグループでの話し合いで「ガマンが研修テーマになるのでは。」という意見が出ました。そこでいくつかの例をあげて「それは我家では、ガマンさせている。」とか「それは少し子供に押されてズルズル許してしまっているかも・・・。」など意見を出し合っている中で「他のお家はどうしているのか、調べてみたいね。」という事で、アンケートを行う事にしました。同時に子供達が家の中のいろいろな約束事やガマンしている事の意識を聞く事で、親の気付かなかった部分も見えてくるかもしれないと話し合い子供も一緒にアンケートを行う事にしました。

このようにして、B グループでは「親のガマン・子のガマン」というテーマで研修を進める事にしました。

アンケートは B グループの中の栗津小学校・蓮代寺小学校・那谷小学校の4、5、6年の保護者及び児童を対象に夏休み前に実施し、保護者193名、児童184名の回答がありました。表1～表7がアンケート結果です。

表1 子供にオモチャ（ゲームのソフト）など欲しいとせがまれた時。

No 1	誕生日やクリスマスなど決められた日まで待たされる	82%
No 2	欲しいものは買い与える	1%
No 3	しつこく言われると根負けしてだいたい買い与える	9%
No 4	その他	8%

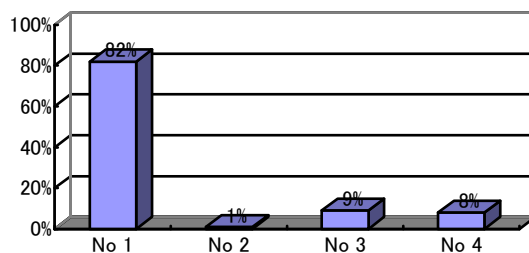


表 2 食事前に時間までにガマンできないと子供に言われた時

No 1	時間まで待ちなさいと言って聞かせる	39%
No 2	少しおやつなどを与えてでも待たせる	52%
No 3	その子だけ先に作って食べさせる	5%
No 4	その他	4%

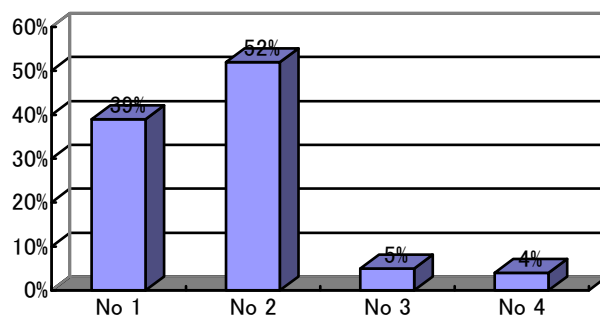


表 3 ゲームやテレビをいつまでもしている時

No 1	ルールを決めてやらせている	40%
No 2	何度も声かけをしてやめさせる	45%
No 3	言っても聞かないのでズルズルと・・・	8%
No 4	その他	7%

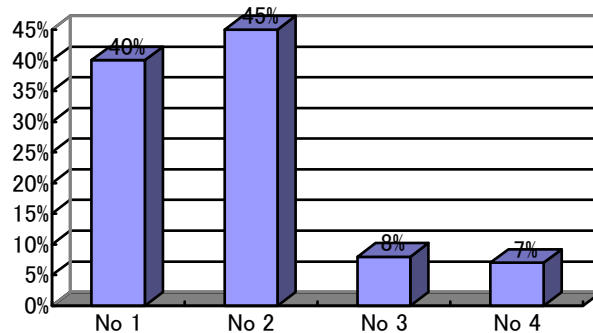
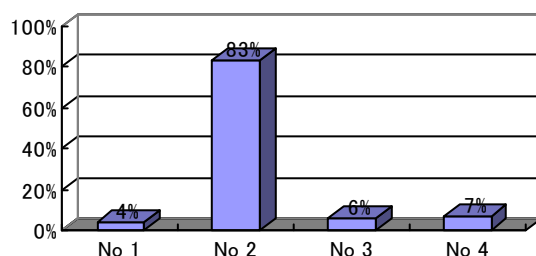


表 4 なかなか子供の仕度などできない時

No 1	出来るまでゆっくり待つ	4 %
No 2	何度も声かけをしてやらせる	83 %
No 3	手伝ってでもすぐやらせる	6 %
No 4	その他	7 %



4・5・6 年児童対象

表 5 日頃家の中で、すごくガマンしてるなあと思う事は何ですか。(複数回答)

No 1	友達が持っているのに自分が持っていないものがある	31 %
No 2	友達と遊ぶ時間が決まっている	29 %
No 3	弟や妹の事で怒られる	27 %
No 4	時間がないと言われ親と遊んでもらえない	24 %
No 5	誕生日やクリスマスまで欲しい物が買ってもらえない	23 %
No 6	見たいテレビを見られない	23 %
No 7	嫌いな物も食べなくてはいけない	20 %
No 8	ゲームをする時間が決まっている	18 %
No 9	親がすすめた習い事をしている	14 %
No 10	自分の部屋がない	12 %
No 11	夕食の時間が決まっている	6 %
No 12	その他	3 %

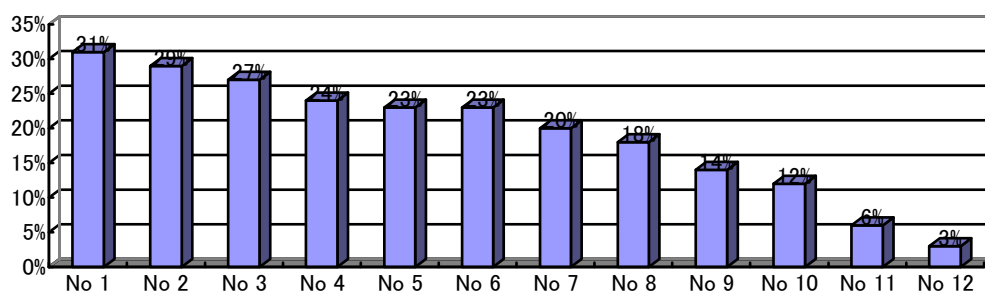


表 6 家の中で、これだけはガマンできないと思うことはありますか。

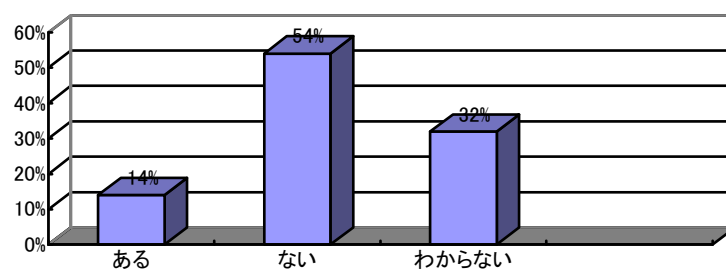


表 7 ガマンするという事は大切な事だと思いますか。

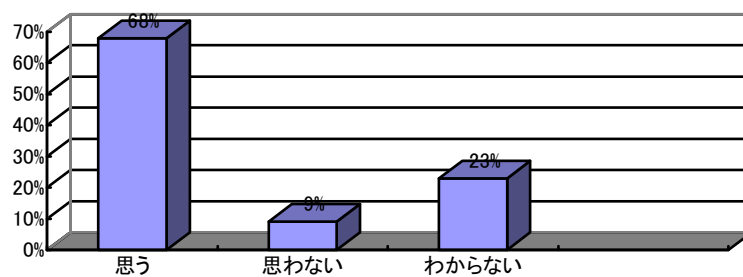


表1から、欲しがる物をただ買い与えるのではなく、約束事を決めてあるようです。その他、目標を達成したご褒美としてや、お年玉やお小遣いを貯めて買わせるなど工夫されている意見も多くありました。

表2から、食事は家族そろって食べる時間がだいたい決まっており、守らせているようです。ただ、いろいろな事情が発生するので臨機応変に、との意見も多くありました。

表3から、ずっとやっていたい子供に対して、ルールを決めたり、声かけをして時間を守らせているようですが、言う事を聞かない時は強硬手段に出る意見も多く親と子のガマン対決のようです。

表4から、本来はゆっくり子供を信じて心穏やかに待つてあげたいところですが時間に追われている親から見て、グズグズしているように見える子供に口を出し、時には手を出し、かまひ過ぎているかも・・・と考えさせられる結果にも見えます。これは、これは、親のガマンも必要な部分かもしれません。

表5から、物や時間に対するガマンに続き兄弟に対するガマンが多いようです。時間がないからと親に遊んでももらえないと思っている子供も多く、少し考えさせられます。全て、該当無しと答えた児童も21%いました。

表6から、ない と わからないで86%を占めていますが、ある と 答えた中には自分は悪くないのに兄妹の事で怒られたりガマンさせられていると感じている意見が1番多く私達親の中にも、同じような思いをした事があり理解できる気がします。

表7から、ガマンは大切だと考える子供が68%を占めていますが、わからないと答えた中に、「大切な時と、大切なでない時の両方あると思う。」という意見がありました。これはとても重要な事だと思います。ガマンばかりして、自分の気持ちを全く出せなくなってしまう事は、その子にとってとても辛い事です。

まとめ 全てのしつけを学校が教える訳ではありません。家庭の中での小さな積み重ねが、学校のルールを守り、社会のルールを守る基本につながるのだと思います。小さなガマンはやがて、大きな忍耐力につながっていくと思います。

以上、ガマンをテーマに研修を進めて感じたのは、本当に必要なガマンは何なのかを改めて考えてみる良い機会になった事です。

平成20年 日

保護者各位

小松市立学校 PTA 連合会

会長 茗荷谷 豊

母親委員 委員長 佐藤 敦子

B グループリーダー 橋本 愛子

残暑お見舞い申し上げます。

以前、アンケートを行いました結果をお知らせします。たくさんの方にご協力頂きありがとうございました。貴重なご意見もたくさん頂きとても参考になりました。心よりお礼申し上げます。